

平成 21 年度事業報告書

(平成 21 年 3 月 1 日から平成 22 年 2 月 28 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・ 第 109 回日本外科学会定期学術集会
日時 平成 21 年 4 月 2 日～4 日
場所 福岡国際会議場, マリンメッセ福岡, 福岡サンパレス (福岡市)
参加者数 12,827 名 演題数 2,475 題
テーマ 「Redemption of Surgery ～社会が求める外科～」
- ・ 第 75 回卒後教育セミナー
日時 平成 21 年 4 月 4 日
場所 福岡サンパレス (福岡市) 参加者数 1,220 名
テーマ 「高齢者の外科手術—安全性と QOL の維持—」
- ・ 第 76 回卒後教育セミナー
日時 平成 21 年 11 月 21 日
場所 国立京都国際会館 (京都市) 参加者数 456 名
テーマ 「外科手術における感染症の up to date」
- ・ 第 17 回生涯教育セミナー
テーマ 「手術 vs 非手術—最新のエビデンスから—」
(北海道地区)
日時 平成 22 年 2 月 20 日
場所 札幌教育文化会館 (札幌市) 参加者数 79 名
(東北地区)
日時 平成 21 年 9 月 12 日
場所 コラッセふくしま (福島市) 参加者数 137 名
(関東地区)
日時 平成 22 年 2 月 6 日
場所 千代田放送会館 (東京都) 参加者数 110 名
(中部地区)
日時 平成 21 年 4 月 12 日
場所 愛知県医師会館 (名古屋市) 参加者数 265 名
(近畿地区)
日時 平成 21 年 6 月 13 日
場所 神戸国際会議場 (神戸市) 参加者数 142 名
(中国四国地区)
日時 平成 21 年 9 月 11 日
場所 宇部全日空ホテル (宇部市) 参加者数 126 名
(九州地区)
日時 平成 21 年 5 月 29 日
場所 久留米萃香園ホテル (久留米市) 参加者数 61 名

平成 22 年度事業計画書

(平成 22 年 3 月 1 日から平成 23 年 2 月 28 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・ 第 110 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。
日時 平成 22 年 4 月 8 日～10 日
場所 名古屋国際会議場（名古屋市）
参加予定者数 12,000 名 演題数 2,479 題
テーマ 「古鑿高懸 Back to the Future of Surgery」
- ・ 第 77 回卒後教育セミナー
日時 平成 22 年 4 月 10 日
場所 名古屋国際会議場（名古屋市） 参加者数 1,000 名
テーマ 「リンパ節郭清の昔と今」
- ・ 第 78 回卒後教育セミナー
日時 平成 22 年 11 月 23 日
場所 パシフィコ横浜（横浜市） 参加者数 800 名
テーマ 「匠の標準手術」
- ・ 第 18 回生涯教育セミナー
テーマ 「外科と化学療法」
(北海道地区)
日時 平成 23 年 2 月
場所 札幌市内 参加者予定数 100 名
(東北地区)
日時 平成 22 年 6 月
場所 仙台市内 参加予定者数 100 名
(関東地区)
日時 平成 23 年 2 月
場所 東京都内 参加予定者数 100 名
(中部地区)
日時 平成 22 年 9 月
場所 福井市内 参加予定者数 100 名
(近畿地区)
日時 平成 22 年 6 月
場所 京都市内 参加予定者数 100 名
(中国四国地区)
日時 平成 22 年 9 月
場所 高松市内 参加予定者数 100 名
(九州地区)
日時 平成 22 年 5 月
場所 宮崎市内 参加者数 100 名

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成22年3月5日	111	臨時増刊2	37,000
平成22年3月15日	111	2	37,000
平成22年5月1日	111	3	37,000
平成22年7月1日	111	4	37,000
平成22年8月15日	111	臨時増刊3	37,000
平成22年9月1日	111	5	37,000
平成22年11月1日	111	6	37,000
平成23年1月1日	112	1	37,000
平成23年2月15日	112	臨時増刊1	37,000

- ・Official Journal「Surgery Today」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成22年3月1日	40	3	40,000
平成22年4月1日	40	4	40,000
平成22年5月1日	40	5	40,000
平成22年6月1日	40	6	40,000
平成22年7月1日	40	7	40,000
平成22年8月1日	40	8	40,000
平成22年9月1日	40	9	40,000
平成22年10月1日	40	10	40,000
平成22年11月1日	40	11	40,000
平成22年12月1日	40	12	40,000
平成23年1月1日	41	1	40,000
平成23年2月1日	41	2	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会，American College of Surgeons（ACS），Society of University Surgeons（SUS）と若手外科医の交換交流を行い，International Federation of Surgical Colleges（IFSC）の加盟を継続する。
- ・日本医学会，外科系学会社会保険委員会連合（外保連），日本専門医制評価・認定機構，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・外科系12学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学及びこれに関する医療制度の資料の収集並びに研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い，その結果を元に関係官庁などに要望書を提出する。
- ・日本医療安全調査機構の運営に参加し，死因の調査分析事業を行う。
- ・National Clinical Databaseの運営に参加し，外科症例登録のデータベース事業を行う。

- ・新しいチーム医療体制確立のためのメディカルスタッフの現状と連携に関する包括的調査研究を行う（厚労科研事業）。
- ・サージカルトレーニングのあり方に関する研究を行う（厚労科研事業）。
- ・広報活動として、第37回市民講座を下記のとおり行い、インターネット上で配信する。
日時 平成22年3月28日
場所 名古屋大学東山キャンパス内 豊田講堂（名古屋市）
テーマ 「2010年日本の外科」

⑤優秀な業績の表彰（定款第4条第5号）

- ・第17回研究奨励賞を表彰する（5名）。
- ・第110回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収録して、制作補助費を支給する。

⑥外科学に関する研究及び調査（定款第4条第6号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。
- ・標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収録する。
- ・消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為比較試験を行う（厚労科研事業）。
- ・初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験を行う（厚労科研事業）。
- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」を公表し、該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・第8回臨床研究セミナー。

日時 平成22年4月9日

場所 名古屋国際会議場（名古屋市） 参加者数 約200名

⑦その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した.

発行年月日	巻	号	発行部数
平成21年3月1日	110	2	38,500
平成21年5月1日	110	3	36,500
平成21年7月1日	110	4	37,200
平成21年8月15日	110	臨時増刊3	37,400
平成21年9月1日	110	5	37,500
平成21年11月1日	110	6	37,700
平成22年1月1日	111	1	37,800
平成22年2月15日	111	臨時増刊1	38,800

- ・Official Journal「Surgery Today」を下記のとおり発行した.

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成21年3月1日	39	3	40,000
平成21年4月1日	39	4	40,000
平成21年5月1日	39	5	40,000
平成21年6月1日	39	6	40,000
平成21年7月1日	39	7	40,000
平成21年8月1日	39	8	40,000
平成21年9月1日	39	9	40,000
平成21年10月1日	39	10	40,000
平成21年11月1日	39	11	40,000
平成21年12月1日	39	12	40,000
平成22年1月1日	40	1	40,000
平成22年2月1日	40	2	40,000

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・ドイツ外科学会, American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS)と若手外科医の交換交流を行い, International Federation of Surgical Colleges (IFSC)の加盟を継続した.
- ・日本医学会, 外科系学会社会保険委員会連合(外保連), 日本専門医制評価・認定機構, 日本医療機能評価機構の活動に積極的に参画した.
- ・外科系12学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科系の横断的な諸問題を協働で検討した.
- ・日本女性外科医会の発足を支援した.

④外科学及びこれに関する医療制度の資料の収集並びに研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集を行い, その結果を元に関係官庁などに要望書を提出した.
- ・「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の運営に協力した(事業主体: 日本内科学会).

- ・各サブスペシャリティ学会と協働で外科症例登録のデータベース事業を開始し、新団体の National Clinical Database を設立した。
- ・新しいチーム医療体制確立のためのメディカルスタッフの現状と連携に関する包括的調査研究を行った（厚労科研事業）。
- ・サージカルトレーニングのあり方に関する研究を行った（厚労科研事業）。
- ・広報活動として、第 36 回市民講座を下記のとおり行い、インターネット上で配信した。
日時 平成 21 年 4 月 5 日
場所 アクロス福岡（福岡市）
テーマ 「最小の傷で治す内視鏡外科最前線～未来の外科への挑戦」

⑤優秀な業績の表彰（定款第 4 条第 5 号）

- ・第 16 回研究奨励賞（5 名）

石橋敬一郎

「Short-Term Intravenous Antimicrobial Prophylaxis in Combination with Preoperative Oral Antibiotics on Surgical Site Infection and Methicillin-Resistant *Staphylococcus aureus* Infection in Elective Colon Cancer Surgery : Results of a Prospective Randomized Trial」

梶原 敬義

「Clinical Results of Commissure Plication Annuloplasty for Mitral Regurgitation in Children」

児玉 憲

「Innate Immune Therapy with a Bacillus Calmette-Guerin Cell Wall Skeleton After Radical Surgery for Non-Small Cell Lung Cancer : A Case-Control Study」

新井田達雄

「Should the Extrahepatic Bile Duct be Resected or Preserved in R0 Radical Surgery for Advanced Gallbladder Carcinoma? Results of a Japanese Society of Biliary Surgery Survey : A Multicenter Study」

伊藤 祥隆

「Reduced Perioperative Immune Response in Video-Assisted Versus Open Surgery in a Rat Model」

- ・第 109 回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な 17 題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給した。

赤須 孝之「超低位直腸癌に対する Intersphincteric resection の術式と治療成績」

植木 隆「安全で確実な D3 郭清を伴う腹腔鏡補助下横行結腸切除術」

上坂 克彦「肛門部胆管癌に対する肝左葉・尾状葉切除，右肝動脈合併切除・再建術」

上田 和弘「肺癌外科治療の低侵襲化のための系統的な取り組み」

大杉 治司「微細解剖に沿った胸腔鏡下食道癌根治術」

岡田 行功「大動脈弁置換術後の再手術」

倉谷 徹「胸腹部大動脈瘤に対するハイブリッドステントグラフト治療」

近藤 竜一「GGO を呈する小型肺腺癌に対する縮小手術時の切除端確保の重要性—術中超音波検査を用いた sublobar resection—」

柵瀬信太郎「I-2, I-3 外鼠径ヘルニアに対する PHS (Prolene Hernia System) を用いた手術の工夫」

佐藤 正人「腹腔鏡下脾臓摘出術一年齢別に見た術式の相違—自験例からの検討」

杉谷 巖「甲状腺手術における NIM/EMG 気管内チューブを用いた術中反回神経モニタリングの効能とピットフォール」

瀬戸 泰之「胸部食道癌根治手術の工夫—特に神経温存について—」

田中 裕史「教育病院における弓部大動脈全置換術」

玉木 康博「内視鏡補助下乳腺手術—現状と将来—」

永井 英司「腹腔鏡下胃全摘術後の安全な再建法の工夫」

羽鳥 隆「十二指腸・胆嚢・胆管温存膵頭切除術」

檜垣 時夫「静脈再建による右肝静脈灌流域を温存した肝切除」

⑥外科学に関する研究及び調査（定款第4条第6号）

- ・ 外科専門医制度に則り，外科専門医として計 4,057 名を認定し，指導医として計 1,809 名を選定し，指定施設として 124 施設，関連施設として 907 施設を指定した。
- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して，ビデオライブラリーに収載した。
- ・ 消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為比較試験を行った（厚労科研事業）。
- ・ 初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同ランダム化並行群間比較試験を行った（厚労科研事業）。
- ・ 「外科臨床研究の利益相反に関する指針」を公表し，該当者から利益相反自己申告書を回収した。
- ・ 第 7 回臨床研究セミナー。

日時 平成 21 年 4 月 3 日

場所 福岡国際会議場（福岡市） 参加者数 約 150 名

⑦その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）